

<p style="text-align: center;">Devotion Guide/ユースマナ</p> <h1 style="text-align: center;">Youth Manna</h1> <p>マルコ1:35</p> <p>さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。</p>	<p style="text-align: center;">2023/10/16(月)</p> <h2 style="text-align: center;">アモス5:16-27</h2> <p>多くの人は、主の日を待ち望んでいた。しかしそれは闇であって、光ではない(18、20)。集会の香りも全焼のささげ物、穀物のささげ物、交わりのいけにえも受け入れられない(21-22)。賛美の音も、主には聴かれない(23)。</p> <p>私達が主の日にはさばかれないようにするためには何が必要だろうか。</p> <p>★主は、全焼のささげ物やいけにえを、主の御声に聞き従うことほどに喜ばれるだろうか。見よ。聞き従うことはいけにえに勝り、耳を傾けることは雄羊の脂肪に勝る。(1サムエル15:22)</p> <p>→「主の御声に聞き従う」とはどういうことだろうか？神様の声を聞くこと、そして従うこと、両方の側面があるけど、日々の生活を振り返ってできていないことは、できるように、助けが与えられるように神様に求めている！</p>	<p style="text-align: center;">2023/10/17(火)</p> <h2 style="text-align: center;">アモス6章</h2> <p>シオン(エルサレム)は南ユダ王国、サマリアは北イスラエル王国。彼らの内の富んでいる者の暮らしぶりはどうだったか。4-6節を読んでみよう。神様から離れた富の使い方は、どんな点で良くないと思う？</p> <p>この時、イスラエルは平和で経済的にも繁栄していたけれど、人々の内面は神様から離れ「公正を毒に変え、正義の実をにがよもぎに変えた」と言われるような状態だった。自分中心の生き方と神様中心の生き方にはどんな違いがあるか考えてみよう。</p> <p>★君の置かれている場所で、神様が君に期待していることはどんなことだろうか？</p>	<p style="text-align: center;">2023/10/18(水)</p> <h2 style="text-align: center;">アモス7章</h2> <p>神は三つの幻を通して、神のあわれみとさばきについて示された。</p> <p>①いなごの幻：一番草は王家、二番草は一般の人々が食べるものであり、主が備えられたイナゴがそれを食い尽くそうとした。アモスは必死になって許しを願い、いなごが食い尽くすことはなかった。</p> <p>②燃える火の幻：次の幻では、責める火が大いなる淵を飲み込み、割り当て地を焼き尽くそうとしていた。アモスはもう一度、イスラエルが減びないようにとりなしをし、主はさばきを思い直された。</p> <p>③下げ振りの幻：「下げ振り」は、建物が垂直に立っているかどうか確かめる道具のことである。主はイスラエルが神に従って立っているかどうかをお調べになる。神は、今度はどんなに祈っても彼らの罪をお許しになることはなかった。</p> <p>アモスのように、自分の国のために取りなして祈ろう！</p>
<p style="text-align: center;">2023/10/19(木)</p> <h2 style="text-align: center;">アモス8章</h2> <p>"わたしの民"と言われるほどのイスラエルに対しても、罪があるなら神様は裁きをもってこたえられる。</p> <p>今日の箇所では記されている罪は、(4-7v)貧しい者や社会的弱者に対する虐待、搾取である。そして起きる裁きは、地震(8v)日食(9-10v)みことばの飢饉(11-12v)干ばつ(13-14v)である。</p> <p>先週のメッセージを聞いてどうだっただろうか？決して直接的な虐待や搾取を私たちはしていないだろう。ただ、十分過ぎる以上のものを持ったり、災害や戦争で大変な状況の中にいる人がたくさんいる中、自分にできる支援をしていないのであれば、それは神様の愛を実行して歩んでいると言えるのだろうか？</p> <p>小さく思うことでも神様の愛を実践する歩みをしよう！</p>	<p style="text-align: center;">2023/10/20(金)</p> <h2 style="text-align: center;">アモス9章</h2> <p>●10vを見ると、神様はイスラエルの中の偶像礼拝をしている人たちに、何と語っているだろうか。それに対して、その人たちの反応は？</p> <p>●14vにあるように、神様は罪を罰せずにはおられないけど、立ち返るなら必ず回復を与えてくれる。神様は優しい。きみは素直になるべきと思うことはないかな？</p>	<p style="text-align: center;">2023/10/21(土)</p> <h2 style="text-align: center;">第一ヨハネ1章</h2> <p>私たちはイエス様の十字架の赦しによって罪が清められることが今日の箇所に分かるね。</p> <p>そして、救われてイエス様と一緒に歩むからこそ、自分の闇の部分である罪が分かることもヨハネは語っている。逆に自分の罪にピンと来ないならそれは自分を騙していることになるし、イエス様の真理を受け取れていないことになるんだ。</p> <p>今、神様から示されている罪はあるかな？神様は私たちが正直に悔い改めて、親しい関係を取り戻すことを願ってくださっているよ。その愛に応答していこう！</p>	<p style="text-align: center;">2023/10/22(日)</p> <h2 style="text-align: center;">第一ヨハネ2:1-17</h2> <p>「ヨハネは福音書で「すべての人を照らすそのまことの光が、世に来ようとしていた」と記したが(ヨハネ1・9)、今やその光は「すでに輝いている」(8)。その光の中にとどまることによって、私たちは何を経験するのだろうか。それは主にある兄弟への心からの愛(10)、罪の赦し(12)、みことばによるサタン誘惑への勝利、父なる神様との親しい交わり(13-14)である。なんと素晴らしい恵みだろう。</p> <p>同時に警告がある(15-17)。その警告とは神様のお考え、ご性質に反するこの世のあらゆる事柄とはっきりと区切りをつけること、自分の内側に根づいている人間的な欲望から開放されるべきことである。一時的に欲望を満足させる生き方ではなく、永遠につながる生き方を選ぶ者でありたい。</p> <p>祈り：神様、あなたが何を私たちにしてくださったかを、さらに教えてください。</p>